



# 国家公安委員会指定 加盟施設一覧

## 財団法人 関西盲導犬協会

会長 串田 壽明 HPアドレス: [www.kansai-guidedog.jp](http://www.kansai-guidedog.jp)

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2

TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

京都に盲導犬を育成する団体と願う市民が集まり発足し、今年で創立30周年を迎えました。多くの方々からご支援いただいていることを励みに、視覚障がい者の方々により質の高い盲導犬を貸与できるよう努めてまいります。



## 社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 木塚 泰弘 HPアドレス: [www.lighthouse.or.jp](http://www.lighthouse.or.jp)

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37

TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202

(旧行動訓練所) TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

「自立と社会参加のためのパートナーシップ」を基本理念とし、視覚などに障害のある方が、尊厳をもってその人らしい生活ができ、積極的に社会参加をすることを共通の目標として、活動しています。



## 社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 田上 昭一 HPアドレス: [www.moudouken.org](http://www.moudouken.org)

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24

TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

平成13年に誕生した新しい協会ですが、役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組んでいます。また盲導犬希望者、使用者に誠実に対応し、それぞれのニーズにあったサービスを提供しております。



## 財団法人 九州盲導犬協会

理事長 稲田 朝次 HPアドレス: [www.fgda.or.jp](http://www.fgda.or.jp)

事務局 〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3-3-39

福岡市市民福祉プラザ内

TEL 092-714-3169 FAX 092-714-3176

総合訓練センター 〒819-1122 福岡県糸島市東702-1

TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様にご利用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



# それぞれの生きる道

黒い毛並みのステップと

白い毛並みのジヨイ。

2頭は盲導犬の候補犬として  
盲導犬の訓練施設で産ま  
れました。

2頭は、パピーウォーカーの家に  
それぞれ預けられ、たくさん  
愛情を受けて育ちました。

そして、1歳になったステップと  
ジヨイは盲導犬の訓練施設に  
戻ってきました。

いよいよ、盲導犬になるための  
訓練が始まります。





# NPO法人 全国盲導犬施設連合会

HPアドレス: [www.gd-rengokai.jp](http://www.gd-rengokai.jp)  
〒160-0007 東京都新宿区荒木町18-7 四谷長岡ビル202号室 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

## 公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 志田 恭司 HPアドレス: [www.h-guidedog.org](http://www.h-guidedog.org)

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1  
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



## 財団法人 東日本盲導犬協会

理事長 中山 慶恵子 HPアドレス: [www.guide-dog.jp](http://www.guide-dog.jp)

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285  
TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行の訪問指導、生活訓練なども行っております。



## 財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: [www.moudouken.net](http://www.moudouken.net)

東京本部 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F  
TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人穴381  
総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030

神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9  
訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2  
訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990

島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15  
訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

1年間に50頭の盲導犬の育成体制を構築。4つの訓練センターには特色があり、神奈川は訓練士学校があり訓練の中心地、仙台は視覚障害者リハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のパピープログラムです。



## 財団法人 中部盲導犬協会

会長 福村 晃夫 HPアドレス: [www.chubu-moudouken.jp](http://www.chubu-moudouken.jp)

〒455-0066 愛知県名古屋市中区寛政町3-41-1  
TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

創立40年。「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。



盲導犬にとっても向いています。

一方、シヨイはいつでも元気いっぴいで、陽気な性格。訓練にもいっつも楽しく取り組んでいます。

訓練士だけではなく、事務の職員、お手伝いに来てくれるボランティアさん、みんなのことが大好きです。

盲導犬になるには、人間が大好きで、仕事を楽しめることが条件です。

訓練士は思いました。

おっとりマイペースなステップ。特技は、どこでも眠れることです。実は、こういうことは盲導犬にとってもとても大切なこと。盲導犬ユーザーと出かけた先で、あるいはレストランやコンサート会場で、ユーザーの用事が終わるまで、盲導犬は待つことが多くのです。その間、リラックサして眠りながら待つことができる犬は、



「ステップもシヨイも、どちらも盲導犬としての素質は十分だ！」  
毎日、2頭が盲導犬になる日を夢見ています。

ステップとシヨイは、毎日毎日訓練をしました。盲導犬は、視覚障害者が安全に歩くお手伝いをします。

角を見つめる訓練や、段差の始まりで止まる訓練、障害物を避ける訓練など、盲導犬になるにはさまざまな訓練が必要です。犬の動きに注意しながら、繰り返し進める訓練は、訓練士にとっては簡単ではありません。

でも、2頭は出来たこととほめられて、訓練を楽しんでいます。

訓練士は、2頭が盲導犬としてさっそうと街を歩く姿を想像し、その日を夢見て、楽しみにしていました。

「ぼくの育てた盲導犬が街中を歩く…なんだかとても誇らしいな」



# 募金箱設置協力企業

敬称略・あいうえお順

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| アリコジャパン         | イズミヤ(株) |
| (株)イトーヨーカ堂      | (株)エコス  |
| (株)音通           | (株)ゲオ   |
| (株)サークルKサンクス    | (同)西友   |
| (株)たいらや         | (株)ダイエー |
| トステムビバ(株)       | (株)長崎屋  |
| (株)フジ           | (株)マスタ  |
| AHBインターナショナル(株) |         |

以上の企業のほか個人店舗設置の募金、  
企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、  
当連合会の活動は支えられ、運営されています。

みなさまからお寄せいただいた募金・寄附は、  
加盟する8施設に均等に分配され、  
各地での盲導犬育成・普及に役立てられます。



フランダースの犬から生まれた  
パトラッシュ基金は  
盲導犬育成普及活動を支援しています

パトラッシュ基金へのお問い合わせ  
www.nippon-animation.co.jp/patrasch/  
日本アニメーション株式会社  
〒104-0061 東京都中央区銀座7-11-14 UHBビル2F  
TEL/03-3574-6281 FAX/03-3573-2674



ある日、近所に住んでいる女の子と、  
そのお母さんが施設へ見学にやって  
きました。女の子は、訓練中のステッ  
プとジヨイを見つ  
「わあ、かわいいー」うちにおいでー  
と声をかけました。  
ジヨイは人間が大好きなので、声をか  
けられて大喜び。  
尻尾を振って近づいていきます。  
「方ステップは、女の子のことをじっと  
見ているだけで、なかなか近づきませ  
ん。  
女の子はジヨイをなでながら言いま  
した。  
「うっ、でもかわいいいな。すい、元氣  
だね。あれ、この子の体についている  
白いベルトは、なあに？」  
女の子はとびつかんばかりにはしゃ  
いでいるジヨイを慌てて止めながら、  
訓練士は言いました。  
「これはハーネスっていうんだよ。  
目の見えない人と盲導犬をつなぐ大  
切なものなんだ。  
今、この2頭は盲導犬になるための  
訓練中なんだよ。目の見えない人が、  
安全に歩けるように、助けて歩くの  
が盲導犬なんだ。」

でも、街中にはいろんな人がいて、たくさんの方が  
聞こえるのでしょ。盲導犬が、仕事中に興味を示し  
てそっちへ行ってしまったら、目の見えない人はとっ  
ても困るし、危ないよね。だから、この2頭みたいに  
ハーネスをつけている犬を見かけたら、声をかけた  
り、さわったりしないようにしてほしいんだ」  
「そうだったんだ…。ごめんさい。これからは、  
気をつけるね」  
女の子に説明しながら、訓練士はふと思いました。  
『そう、ステップは確かにおっとりした性格で、訓  
練も、常にマイペースで覚えていく。そして訓練の  
指示語を覚えるのが早いジヨイ。誰に対しても愛想  
が良く、施設職員の中では人気者。この女の子のこ  
とも大好きみたいだ。』  
僕は、2頭とも盲導犬になって欲しくて、訓練をし  
てきたけれど、僕の希望で、盲導犬になるんじゃない  
い。目の見えない人が安全に歩けるようサポート  
をする犬、それが盲導犬だ。  
その仕事を的確に、かつ楽しめる犬を訓練して、渡  
さないと、ユーザーとなる人にも迷惑をかけるし、  
犬自身も不幸になってしまつ。  
盲導犬になることが、この子たちにとっての進むべ  
き道なのか…。もっとよく考えなければいけない  
な』  
訓練士は、2頭にとって本当にふさわしい道は何な  
のか、毎日毎日考えました。

# 全国盲導犬施設連合会の主な活動報告

盲導犬育成事業にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
NPO法人全国盲導犬施設連合会は、北海道から九州まで全国に点在する国家公安委員会指定の盲導犬訓練施設、8施設の連絡組織として活動し1つの施設では取り組めないような全国規模の事業を行い、盲導犬事業の発展に努めています。みなさまのご支援・ご協力で平成21年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

## 資格認定事業

盲導犬育成事業にたずさわる盲導犬訓練士・盲導犬との生活を指導する歩行指導員の資格を確立して、レベルの向上を図り、その社会的地位を高める認定事業を実施し、11名の訓練士、4名の歩行指導員を誕生させました。



## 盲導犬普及を進める広報誌を発行

・「DUET18号」を発行(年1回)。  
盲導犬についての情報がたっぷり詰まった一冊となりました。募金箱と一緒に常設し、ご自由にお取りいただいております。  
・「盲導犬情報」2号・3号を発行。  
3号では、日本盲人社会福祉施設協議会の盲導犬訓練基準集が10年ぶりに改訂されたことを中心に、その内容をまとめました。



## 「盲導犬普及啓発活動」を全国で31回実施

募金箱設置協力店のご協力を得て盲導犬の啓発イベント、小学校で盲導犬の授業を実施しました。出会う機会の少ない方々に盲導犬を知ってもらうために積極的に取り組みます。



## 盲導犬受入の促進

・スーパーやお店、公共施設等で盲導犬の受入を表示する「補助犬同伴可ステッカー」の作成と配布を行いました。  
・09年度盲導犬受入ポスターを作成しました。募金箱設置協力先で掲示しています。



そして月日は流れ……

ある晴れた日、白杖を持った、1人の男性が訓練施設を訪れました。

「うん、今日は。今日から宜しくお願いします。」  
そこへやってきたのは訓練士とステップ。

男性は、訓練士と出会った途端、こう言いました。

「ああ、早く一緒に歩きたいな……この日をずっとずっと待っていたんだ。さあさあ、早くに訓練を始めましょう。」

この男性は、盲導犬の希望者で1年間ずっと待っていたのです。

盲導犬と、もうすぐ一緒に街へ繰り出せると思うと、今すぐでも歩いてみたいくらいです。

すると、ステップはゆっくりと近づいてきて男性に寄り添いました。

「ステップは、とてもおっとりした性格なんです。慌てなくて大丈夫だよ。一緒に歩きたいなら、さあさあ、早くに訓練を始めよう。」

ステップの温かな体に少し落ち着きを取り戻した男性は、照れくさそうに笑いました。

「俺は、いつだって焦ってしまつのが悪い癖なんだ。この日をずっと待っていたから、嬉しいよ。でも、ステップのそばにがんばるよ。」



## NEWS 日本国内の盲導犬実働数が1000頭を越えました!!

都道府県別の盲導犬実働数は1045頭

北海道 ……36	群馬県 ……7	富山県 ……5	三重県 ……11	鳥取県 ……6	福岡県 ……9
札幌市 ……23	埼玉県 ……51	石川県 ……28	滋賀県 ……13	島根県 ……11	福岡市 ……6
青森県 ……4	さいたま市 ……7	福井県 ……4	京都府 ……5	岡山県 ……17	北九州市 ……7
岩手県 ……19	千葉県 ……38	山梨県 ……13	京都市 ……12	広島県 ……19	佐賀県 ……6
宮城県 ……7	千葉市 ……2	長野県 ……27	大阪府 ……38	広島市 ……11	長崎県 ……6
仙台市 ……3	東京都 ……99	静岡県 ……38	大阪市 ……24	山口県 ……18	熊本県 ……15
秋田県 ……17	神奈川県 ……29	静岡県 ……4	堺市 ……2	徳島県 ……6	大分県 ……18
山形県 ……9	横浜市 ……27	浜松市 ……3	兵庫県 ……44	香川県 ……6	宮崎県 ……13
福島県 ……13	川崎市 ……5	愛知県 ……23	神戸市 ……23	愛媛県 ……15	鹿児島県 ……22
茨城県 ……20	新潟県 ……18	名古屋 ……15	奈良県 ……13	高知県 ……9	沖縄県 ……7
栃木県 ……11	新潟市 ……8	岐阜県 ……12	和歌山県 ……8		

2009年3月31日現在

# 〜クロスワードで遊ぼう〜

## 【ヨコのかぎ】

- 1 手引きの時は、ひじか〇〇を持ってもらいましょう。
- 5 補助犬同伴可〇〇〇〇〇〇のご希望は、全国盲導犬施設連合会まで!
- 8 盲導犬は皆様からの〇〇〇〇と寄附で育成されています。
- 9 英語で「スプリング」
- 10 果汁100%がおいしいですね。
- 12 〇〇に敷くマットをマナーとして持ち歩いている盲導犬ユーザーもいます。
- 14 盲導犬はタクシーの〇〇〇〇〇〇〇〇ではありません。

## 【タテのかぎ】

- 2 駅伝で、走行選手が身につけるもの。
- 3 一番暑い季節は?
- 4 盲導犬はお仕事中に必ずこれをつけています。
- 6 〇〇〇ブロックの上には自転車は置かないようにしましょう。
- 7 毛が飛ぶのを〇〇〇〇する為、盲導犬に洋服を着せているユーザーもいます。
- 8 ボランティア〇〇〇〇〇〇の情報は、加盟訓練施設へお問い合わせください。
- 11 わけ、いわれ。
- 13 【タテ3の答え】に一番おいしいのは〇〇ビールですね。

※盲導犬と関係のない言葉が入るマスもあります。

答えは平成22年7月より、  
全国盲導犬施設連合会の  
ホームページに掲載されます。

HPアドレス [www.gd-rengokai.jp](http://www.gd-rengokai.jp)



**問題**  
オレンジ色のマスに入る文字を並び変えると…?  
**盲導犬との幸せな**



その日の午後、今度は親子が施設へやってきました。  
「今日はとっても楽しみな日なのよ。きつと特別な日になるからねー早く会いたいな」  
女の子がお母さんへ言いました。そこへ訓練士がやってきました。  
「お待たせしました」  
横には…シヨイがいます。訓練士はシヨイに言いました。  
「いいかいシヨイ、今日からおまえはこの人たちの家族の一人だよ。」  
シヨイの仕事は、盲導犬として人を安全に誘導することではなく、この人たちと一緒に暮らして、思い出をいっしょに作ること。  
それが、シヨイが番輝ける道だと僕は思ったんだ。どうかな?」  
シヨイは、訓練士をじっと見ています。  
訓練士は、女の子に言いました。  
「シヨイ、と声をかけてあげて」  
女の子が  
「シヨイ、ごんごんちはー!」  
と声をかけると、シヨイは大喜びで女の子に飛びついて行きました。



それを見た訓練士は、ちよっぴり寂しいような、でも嬉しい気持ちでいっしょでした。  
「やはりシヨイの生きる道は盲導犬ではなかったのだ。よかった」  
そう、この家族は、あの日、見学に来ていた親子です。シヨイはその親子に家庭犬として育ててもらったことになったのでした。  
昨日まで一緒に盲導犬候補犬として頑張っていたステップとシヨイは、今日からそれぞれの新しい道を歩み始めました。  
盲導犬として第歩を踏み出したステップ、盲導犬にならなかったシヨイ、どちらも幸せな犬生を送ることでしょう。  
※この物語は事実に基づいて作られたフィクションです。盲導犬の適性審査はその犬の性格だけではなく、健康面など、さまざまな角度から見られますので、盲導犬候補犬の中から、実際の盲導犬になるのは約4割とされています。



# 盲導犬の一生

## ◆◆ 誕生

盲導犬に適した、選ばれた繁殖犬から盲導犬は生まれます。  
生後2ヶ月くらいまで、母犬のもとで暮らします。

## ◆◆ 生後2ヶ月頃

パピーウォーカー(子犬を飼育するボランティア)の家庭で、愛情をこめて育ててもらいます。  
人間との信頼関係を築き、社会のマナーも学びます。

## ◆◆ 訓練スタート

1歳になると、盲導犬訓練施設に戻ってきます。約6～12ヶ月間の訓練をして、その間に盲導犬としての適性が評価されます。

## ◆◆ 出会い そして共同訓練

盲導犬として適性があると認められた犬は、パートナーになる視覚障害者と出会います。  
この訓練では、人と犬がお互いに協力しあい、信頼関係を築く共同作業。  
また、視覚障害者はこの期間に、盲導犬と安全に歩くことや犬の世話、健康管理の方法など、知っておくべきマナー・知識なども学びます。

## ◆◆ 現地訓練

盲導犬ユーザーとなった視覚障害者の生活エリアで、歩行指導員が同伴し、フォローアップします。

## ◆◆ 共に歩く

盲導犬とそのユーザーはお互いに信頼しあい、人生を共にしています。  
外出するとき盲導犬と一緒にだと、ユーザーはより安全で、快適に歩くことができます。



## ◆◆ 第二の人生

盲導犬は10歳から12歳までを目安に引退します。  
引退後はボランティアの家で暮らしたり、育った訓練施設でのんびりと暮らします。

## 盲導犬ユーザーからのメッセージ

# オレオと歩む道



## 【一生の記念に、と訪れた施設で…】

漠然としたイメージで、「盲導犬は特別に選ばれた人だけが使える」と思っていました。私には雲の上の存在だと。ある日友人から、「訓練施設で、盲導犬の体験歩行ができるよ」と教えてもらい、せっかだから一生の記念に、と施設を訪れたところ、「盲導犬をご希望でしたら、申し込みをされたらいかがですか?」と施設の職員の方に声をかけていただきました。その時、「盲導犬は、特別な人でもなくても申し込めるんだ!」と驚きました。体験歩行をするまでは、盲導犬はロボットみたいな温かみのない犬とばかり思っていました。でも、しっぽをプリプリ振りながらとても楽しそうに歩いていて、それがとても可愛くて。「こんなに楽しそうな犬とだったら一緒に歩いてみたいな」と思い、申し込みをしました。

## 【当たり前前かが、当たり前前に行ける幸せ】

白杖で歩いていた頃は、目的地に無事到着するだけで、かなり疲れてしまいました。でも、オレオと一緒にだと、知らない道も気楽に歩けます。  
盲導犬はタクシーの運転手さんではないので、目的地まで連れて行ってくれることはありません。ただ、「階段」と言えば階段を、「エスカレーター」と言えばエスカレーターを探してくれる。これは見えない私にとって、すごく大きいことです。オレオと一緒になら、自分の好きな時間に、誰に気兼ねすることもなく、散歩もできるし、季節限定のチョコレート一つだけを買いに、コンビニにも行けます。こんな当たり前前かができる毎日、とても幸せなことです。

## 【盲導犬ユーザーに対する理解】

仕事中のオレオに「あーかわいい」と声をかける人はだいぶ減りました。でも、最近は、黙って携帯のカメラで写真を撮る人がいて、これは困ります。どのようなことをされているのかわからない為、とても怖いのです。この他にも、駅のホームや交差点などで、親切に手を貸して下さる時、突然腕をつかまれたりすると、声を上げてしまうほど驚き、恐怖を感じる場合があります。どのような場面でも、まず、ユーザー(私)に一声かけていただけると本当にありがたいです。盲導犬ユーザーは、日本ではまだまだ約1000人。街中で会うことも少ないですね。盲導犬とともに街中を歩く風景が、もっともっと、当たり前前の中になればいいなと願っています。



# お手伝いできることって ……………何だろう？



## 🐾 手助けするときは 🐾

盲導犬ユーザーが困っているようなときは、盲導犬にではなく、まずユーザーの方に「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてください。

また、盲導犬は信号の色を判断することはできません。盲導犬ユーザー自身が人や車などの音で渡れるかどうか判断し、盲導犬に指示を出しています。

そのため、「青になりましたよ」と周りの方が、声をかけてくださると助かります。

## 🐾 手引きの方法 🐾

目の不自由な人を安全に誘導する方法を「手引き」といいます。盲導犬ユーザーから「手引きをお願いします」と頼まれたら盲導犬がいる側と反対側に立ち、あなたのひじか肩をユーザーに持つてもらい、ユーザーより少し前を歩いてください。

## 🐾 安全に誘導するには 🐾

「横断歩道を渡ります」、「〇〇行きのバスが、来ましたよ」と声で状況を説明してください。

また、階段の始まりや終わりなどでは、一度止まったり、ものをよける時はぶつからないように余裕をもって歩くようにお願いします。

## 補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を

現在、身体障害者補助犬法の施行により、お店、施設等は、補助犬同伴を理由に利用を拒むことはできません。ところが残念なことに、補助犬同伴を理由に入店を拒否されてしまうケースがあります。

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくための「補助犬同伴可ステッカー」を作成しています。

街中のあらゆる場所に温かい心を伝えるために、どうぞご協力ください。



## 盲導犬ユーザーに出会ったら

# こんなことに気をつけましょう

## 🐾 お仕事中は盲導犬に声をかけないでください 🐾

盲導犬は仕事で、「ハーネス」という白、もしくは黄色の胴輪をつけています。このハーネスをつけているときは仕事に集中しているので、さわったり、声をかけたりしないようにしましょう。

また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。気が散って盲導犬ユーザーを安全に誘導できなくなってしまいます。



## 🐾 食べ物を与えないでください 🐾

盲導犬は盲導犬ユーザーとともに、規則正しい生活を送っています。健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするため、食事の時間も決まっており、決められたものしか口にしないようにしているので、かわいい、と思っても食べ物を与えないでください。

## 🐾 そっと見守ってください 🐾



何もしない人に対して、盲導犬がいきなり吠えたり、かんだりすることはありません。犬が苦手な場合は、目の見える方の方でそっと避けていただけると助かります。

ハーネスは盲導犬ユーザーと盲導犬をつなぐ大切なものです。つかんだりしないようにしましょう。